

科目名	基礎演習(4) (学科/商)		
担当教員	杉本 学（スギモト マナブ）	単位数	4単位
開講期間	春学期/秋学期	授業形態	演習
使用言語	日本語	開講学年	1年次のみ
開講学科・カリキュラムコード※	商SS1		
資格科目			
授業概要	大学という所は、さまざまな点で高校までの学校とは大きく異なっています。そんな大学に入ったばかりの皆さんを、大学で着実に学んでいけるように導くことが、基礎演習の第一の役割です。 この演習では、文章の読み方、資料の探し方、レポートの書き方、発表の仕方など、大学で学んでいくうえで基本となるさまざまな技法を、総合的にトレーニングします。また、大学生が身につけるべき語彙力・読解力・論理的思考力を養うことも狙いとしています。 それらの技法や能力を身につけるにあたっての題材として、「地域について考える」というテーマを設けます。熊本を主とした地域の現状や課題、地域活性化の取り組みなどについて、文献と一緒に読んだり、グループごとに調べて発表しあったりしていく予定です。 この授業を通して、大学で共に「知」を探索する楽しさを知ってもらうことを願っています。		
到達目標	- 講義を聞いて適切にノートを取ることができる。 - 課題に応じて必要な情報を、適切な情報源から入手できる。 - 論説的な文章を読んで論旨を正確に把握し、さらにその内容を批判的に検討することができる。 - グループで、他のメンバーと協力して課題を解決できる。 - レジュメやスライドを適切に作成できる。 - 情報や意見を、聞き手に伝わるように発表できる。 - 他者の発表を聞いて、質問や意見を述べることができる。 - レポートの原則を理解し、それに則ってレポートを書くことができる。		

カリキュラム学科 2025年度 春学期 学部 商学部 商

商学科DP		関与度
1	企業をはじめとする組織の諸活動について、その活動の運営・管理や維持・発展について考察するために必要となる知識や理論を習得している。	
2	企業をはじめとする組織の諸活動について、その社会的貢献や責任、歴史や環境等と関連づけて理解したり、文化的多様性の存在を理解したりする能力を身につけている。	
3	柔軟な適応力や総合的な判断力、確かな実践力を身につけ、高いコミュニケーション能力を有して他者と協働することができる。	◎
4	企業をはじめとする組織の諸活動について、問題を発見し、その解決に必要な多様な情報を収集・分析することができる。さらに、一定の根拠に基づき、複眼的・論理的に思考することによって、説得力のある分析や解決策を提案できる。	○
5	知的好奇心、協調性やリーダーシップ、自己管理能力などを兼ね備え、生涯を通じて自律的に学び続けることができる。	△

授業内容	
第1回	〈オリエンテーション〉 - 授業の説明 授業の概要や進め方、ルールについて理解する。 - 自己紹介 メンバー同士、互いに自己紹介しあう。
第2回	- 話の聞き方（ノートの取り方） 人の話を聞いてメモを取る要領と習慣を身につける。 - 熊本学園大学の「トリセツ」、 大学のWEBサイトを閲覧したり、各施設を見て回ったりして、大学の利用の仕方を覚える。
第3回	講義「大学とは何か」 大学がどのような機関なのかについて理解し、その中で自分たちがどのような学生生活を送るべきか考える。
第4回	- 先輩の「論文」を読んでみよう 卒業生が書いた論文を読むことを通して、卒業までの学修の目標を共有する。 - フォーマルな文章の書き方 大学や社会で文書を書くときの文章表現や、メールのマナーを習得する。

第5回	情報収集の仕方(1) ～図書館ガイダンス～ 大学図書館が実施する図書館ガイダンスに参加し、図書館の利用法を学ぶ。 (※図書館ガイダンスのスケジュールによって、日程が前後する可能性があります。)
第6回	情報収集の仕方(2) ～インターネットでの資料検索～ 大学で学ぶうえで適切な情報をインターネットから得る方法や注意点について習得する。
第7回	文章の読み方(1) ～基礎編～ 学術的な文章を正確に読解するための要領を習得する。
第8回	論理的思考のトレーニング 文章を批判的に読解するのに必要な論理的思考をトレーニングする。
第9回	文章の読み方(2) ～批判的読解～ 前回学習したことをふまえて、文章を批判的に読解する練習をする。
第10回	文章の読み方(2) ～批判的読解～（続き） 前回に引き続き、文章を批判的に読解する練習をする。 とくに今回は、統計的なデータを論拠とした主張を取り上げる。
第11回	レポートの書き方 大学で課されるレポートの標準的な書き方を習得する。 とくに今回は、レポートを書く前の準備（問題設定、資料収集、構成など）について学ぶ。
第12回	レポートの書き方（続き） 大学で課されるレポートの標準的な書き方を習得する。 とくに今回は、レポートを書く際の注意点（論述形式、引用のルールなど）について学ぶ。
第13回	地域に関する文献を読む(1) 地域の社会・経済に関する文章を各自で読んで要旨をまとめ、メンバーで共有する。
第14回	● 地域に関する文献を読む(2) 地域の活性化に関する文章を各自で読んで要旨をまとめ、メンバーで共有する。 ● 定期試験に向けて 大学における定期試験の特徴を理解し、試験に備える。
第15回	● 春学期の総括 春学期に学んできたことを再確認し、それらを活用できているか自己評価する。 ● 夏休み課題の出題
第16回	発表の仕方(1) ～レジュメを使った発表～ レジュメの作成方法と、それを使った発表の仕方を習得する。
第17回	夏休み課題の発表 夏休み課題の成果をレジュメにまとめ、発表しあう。
第18回	「研究」とは何か 「勉強」と「研究」の違いについて理解し、基本的な研究の仕方を学ぶ。
第19回	グループ研究(1) ～グループ分けとテーマ決め～ いくつかのグループに分かれ、グループで研究する大まかなテーマを決める。
第20回	グループ研究(2) ～テーマに関する文献を読む～ グループごとに、設定したテーマに関連する文献を選んで読む。
第21回	グループ研究(2) ～テーマに関する文献を読む～（続き） 前回に引き続き、グループごとにテーマに関連する文献を読む。
第22回	グループ研究(3) ～課題の絞り込みと計画～ グループごとに、テーマから具体的な研究課題を絞り込み、研究計画を立てる。
第23回	グループ研究(4) ～資料収集～ グループごとに、図書館等で資料を収集する。
第24回	グループ研究(4) ～資料収集～（続き） 前回に引き続き、グループごとに資料を収集する。
第25回	グループ研究(5) ～結果のまとめ～

	収集した資料から何が明らかになったか、グループで話しあう。	
第26回	発表の仕方(2) ～スライドを使った発表～ PowerPointでのスライドの作成方法と、スライドを使用した発表の仕方について習得する。	
第27回	グループ研究(6) ～発表準備～ グループごとに、PowerPointでスライドを作成し、発表の準備をする。	
第28回	グループ研究(6) ～発表準備～（続き） 前回に引き続き、グループごとに発表の準備をする。	
第29回	グループ研究(7) ～発表会～ 各グループの研究成果を発表しあう。	
第30回	全体総括 この演習で学んできたことを再確認するとともに、1年間の大学生活全般について自己評価をする。	
事前事後学修(具体的な内容及び必要な時間)		原則として毎回、事前準備や復習を指示しますから、必ず行ってください。 それらの課題には、1回の授業あたり4時間程度が必要になります。
試験や課題に対するフィードバック方法		それぞれの課題について、講評や添削などを行います。
アクティブ・ラーニング		プレゼンテーション／グループワーク
実務経験を生かした具体的な授業内容		
学修支援システムLMS（manaba）の活用		manabaでのレポートの回収／manabaに講義資料・コンテンツの公開／その他manabaの機能の活用
受講上の注意点		- この科目は演習なので、能動的な参加が求められます。 - 初回の授業で伝達する受講上のルールを順守すること。
教科書		使用しません。各回の授業時に配付する資料を用いて授業を進めます。
参考文献		授業のなかで適宜 指示します。
成績評価方法		評価割合
A.定期試験		0%
B.レポート		30%
C.小テスト		10%
D.発表(プレゼン・スピーチ等)		20%
E.平常点・授業への貢献度		40%
F.その他		0%
成績評価についての補足		
担当教員との連絡方法		大学アカウントのEメール（@kumagakuのアドレス）
連絡方法（その他）		
添付ファイル		

※カリキュラムコードは、各学科の群（分野）、必修か選択、開設学年を示しています。詳細は履修登録ガイドを参照してください。